



分類	No.	チェック項目	基本	チャレン	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・法令を遵守するとともに、環境汚染防止に向けた適切な管理体制と処理方法を徹底し、持続可能な環境保全に積極的に取り組んでいる。			3.9		6.3				11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を活用し、電力やガソリンなどの自社エネルギー使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・事務所内は全てLED照明を採用し、エネルギー効率の向上を実現している。 ・営業車はハイブリッド車への入れ替えを順次進め、エネルギー使用量の低減に取り組んでいる。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社の温室効果ガス排出量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・事務所内は全てLED照明を採用し、エネルギー効率の向上を実現している。 ・営業車はハイブリッド車への入れ替えを順次進め、エネルギー使用量の低減に取り組んでいる。			2.4				7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事務所内には可能な限り緑地を残すよう日常的に配慮することで環境に悪影響を及ぼさないよう取り組んでいる。 ・敷地内にはふくろうが訪れることもあり、こうした自然環境を守るため、緑地の維持管理にも継続的に取り組んでいる。					6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・業務のデジタル化を進め、ペーパーレス化を推進している。 ・産業廃棄物のうち再利用可能なものは、リサイクル施設へ搬入し、資源の有効活用を行っている。 ・碎石には再生材を積極的に活用し、資源循環型の取り組みを進めている。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・仮設水道設備における漏水を防ぐため、定期的に点検を実施している。 ・水道管の破損を未然に防ぐため、工事前の事前調査を徹底し、水資源の保全に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用品には環境負荷の少ないグリーン購入対象製品を積極的に採用している。 ・碎石については再生材を活用し、資源循環型社会の実現に貢献している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2		6.4					12.3		14	15				17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所前の社有林では、既存の樹木や緑地をできる限り残し、定期的な下草刈りや清掃を行うことで、自然環境の維持と良好な景観の保全に取り組んでいる。 ・敷地内にはふくろうが訪れることもあり、こうした自然環境を守るため、緑地の維持管理にも継続的に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・事務所前の社有林では、既存の緑地を可能な限り保全するとともに、植樹による森林の再生にも取り組み、森林資源の循環的な利用への取組みを推進している。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・自社の社有林に植樹することで森林整備活動に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

